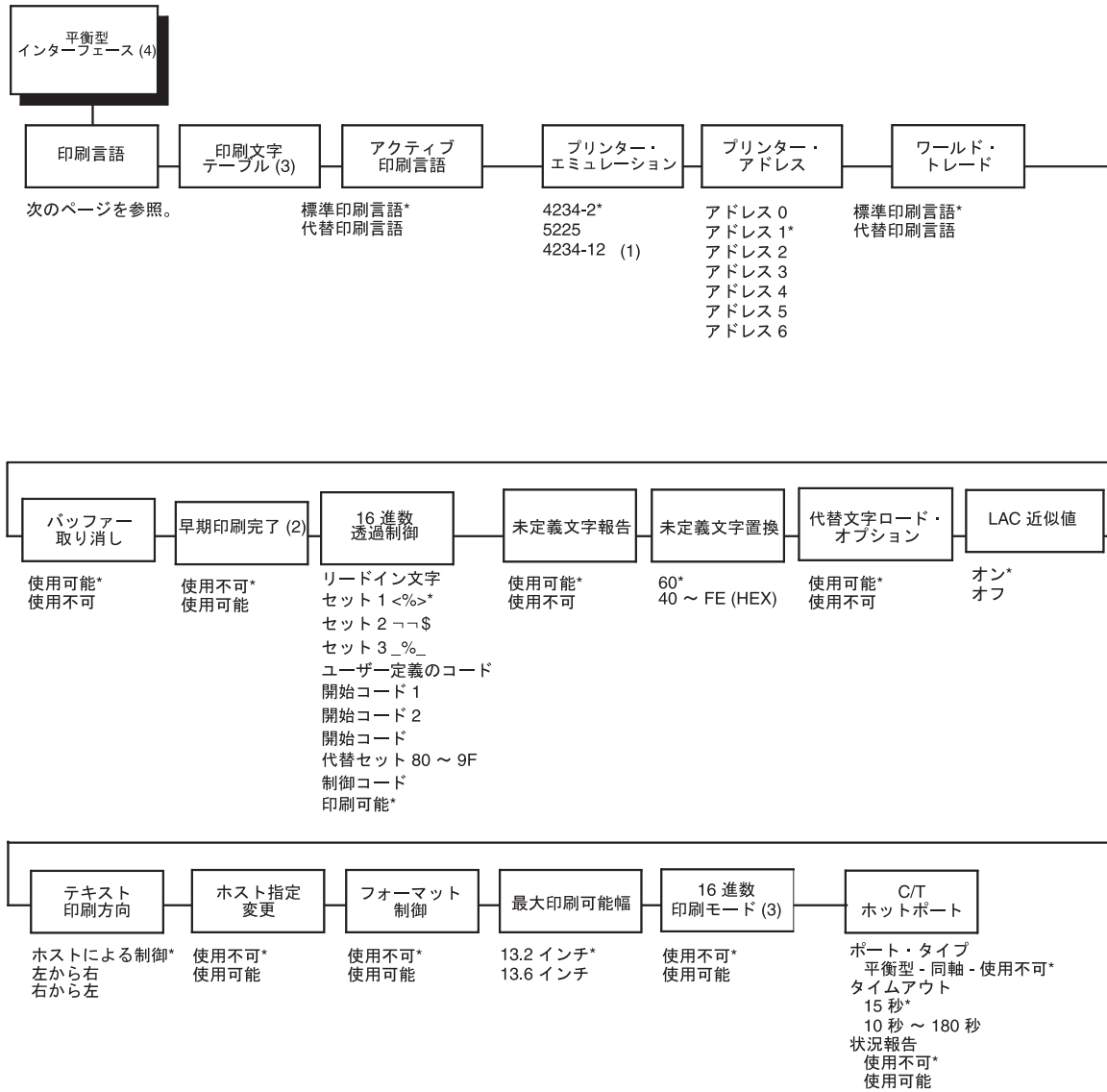
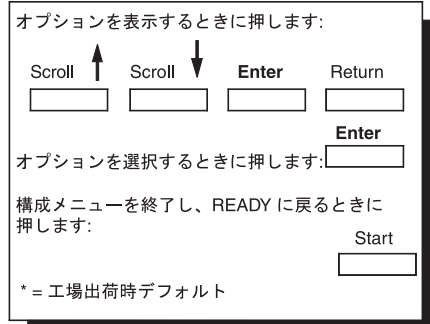


# 平衡型インターフェース・メニュー



注:



- (1) IPDS 機構を取り付けると、4234-12 オプションがデフォルトとなり、このメニューには表示されません。IPDS 機構が取り付けられていないと、4234-12 オプションはこのメニューには表示されません。4234-2 がデフォルトとなります。
- (2) IPDS 機構を取り付けると、「EARLY PRINT COMPLETE」オプションがこのメニューに表示されます。
- (3) IPDS には該当しません。
- (4) 同軸/平衡型インターフェース・メニューは、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。



HE9SG085



オプションを表示するときに押します:

Scroll 	Scroll 	Enter	Return
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

オプションを選択するときに押します:  Enter

構成メニューを終了し、READYに戻るときに押します:  Start

\* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG086

## 印刷言語

PRINT LANGUAGE は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

- 標準印刷言語 (デフォルト)
- 代替印刷言語は、6408/6412 モデル CT0 プリンターと互換性のあるコード・ページを提供します。このオプションは 5225 プリンター・エミュレーションで使用します。

OCR A または OCR B の印刷品質を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されると、この印刷品質では OCR A および OCR B のみが使用可能な値となります。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

## 印刷文字テーブル

PRINT CHARACTER TABLE は、平衡型インターフェースの現行文字セットのテーブルを印刷します。

文字セットは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」に示されています。

## アクティブ印刷言語

ACTIVE PRINT LANGUAGE は、どの印刷言語設定がアクティブ設定となるかを指定します。

- 標準印刷言語 (デフォルト)
- 代替印刷言語

## プリンター・エミュレーション

このパラメーターでは、次のようなプリンター・エミュレーションを定義します。

- 5225
- 4234-2 (デフォルト)
- 4234-12

4234-12 選択肢は、IPDS 機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。

4234-12 選択肢は、IPDS 機構が取り付けられている場合デフォルトであり、そうでない場合は 4234-2 がデフォルトです。

エミュレーションが変更された後、POR 状況がホストに送られます。

## プリンター・アドレス

PRINTER ADDRESS により、装置アドレスを 0 ~ 6 に設定することができます。ホストは、固有な装置アドレスに基づき、平衡型回線上的データおよびコマンドを特定の装置に割り当てます。

アドレスが変更された後、POR 状況がホストに送られます。

## バッファ取り消し

CANCEL BUFFERS には、次のオプションがあります。

- 使用可能 (デフォルト) では、ジョブがホストから保留されたとき、あるいは「Cancel」キーが押されたときに、すべてのバッファが取り消されます。
- 使用不可では、ジョブがホストから保留されたとき、あるいは「Cancel」キーが押されたときに、印刷エンジン・バッファではなくて、平衡型内部バッファが消去されます。

## 早期印刷完了

早期印刷完了により、プリンターは、すべてのデータの印刷を実際に終える前に、印刷完了状況をホストに送ることができます。早期印刷完了は、IPDS 機構が取り付けられている場合のみ使用可能です。

- 使用不可 (デフォルト) は、すべての印刷が完了するまで、プリンターが Early Print Complete 応答を抑制することを意味します。
- 使用可能は、プリンターがさらにデータを受け入れることができるときに、プリンターがホストに肯定応答を送ることを意味します。

**注:** 早期印刷完了が使用可能にされ、エラーが発生する場合、プリンター内のデータは (Cancel Buffer オプションの設定に関係なく) バッファに残ります。エラーから回復するには、ローカルの手順に従うことをお勧めします。

印刷ジョブの進行中は、早期印刷完了を選択しないでください。これが行われると、プリンターを再始動することが必要になります。

## 16 進数透過制御

このオプションにより、標準の IBM エミュレーションでは利用できない追加の機構を使用可能 (デフォルト) または使用不可にすることができます。これらの機構にアクセスするには、データ・ストリーム内で lead-in character テキスト・コマンドを送ります。ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex を使用することもできます (そのようにするよう構成されている場合)。

- **リードイン文字。** Lead-In Character コマンドには開始と終了のコードがなければなりません。Set 1 は工場出荷時のデフォルトです。次の 3 つのセット (それぞれ開始および終了のコードを含む) が使用可能です。
  - Set 1: start code = <% (デフォルト) end code = >
  - Set 2: start code = ^^ end code = \$
  - Set 3: start code = \_% end code = \_
- **ユーザー定義のコード**
  - Start Code 1: 5F
  - Start Code 2: 5F\* (デフォルト)
  - Stop code: 5B (デフォルト)

コードは、x'40' - x'FF' の範囲で設定できます。

- **代替セット 80 ~ 9F。** この選択肢は、ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex が制御コードとして使用されるのか、標準の印刷可能文字として印刷されるのかを決定します。

- 印刷可能 (デフォルト) では、代替セットを標準文字として印刷します。
- 制御コードでは、プリンターの制御コードとして使用される代替セットを選択します。

## 未定義文字報告

UNDEFINED CHARACTER REPORTING により、SGEA (Set Graphic Error Action) コマンドのホスト設定の指定変更を行うことができます。SGEA コマンドについて詳しくは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- ENABLE (デフォルト) は、SGEA 用のホスト設定であり、プリンターによって使用されます。SGEA コマンドがグラフィック・エラーで停止するよう要求される場合、グラフィック・エラーが検出されるとプリンターは停止します。
- DISABLE は、ホストからの SGEA コマンドを無視します。エラーが検出されたときにプリンターは停止せず、その代わりに、プリンターは「UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION」メニュー項目で選択された文字を置換します。

## 未定義文字置換

UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION は、ホストから受け取られた印刷不能文字の代わりに印刷する置換文字を指定します。その文字は、次の場合に、プリンターのデフォルトになります。

- プリンターの電源がオフにされてから、オンにされる。
- SGEA コマンドがオペレーター・パネルのデフォルトを使用するよう指定する。
- 「UNDEFINED CHARACTER REPORTING」オプションが使用不可である。

文字コード・ポイントは、40 Hex ~ FE Hex の範囲を取ることができます。工場出荷時のデフォルトは、Hex 60 に設定されています。

## 代替文字ロード・オプション

LOAD ALTERNATE CHARACTER (LAC) OPTION により、ホスト・システムは代替文字イメージをプリンターにセットすることができます。これは、グラフィックス、バーコード、および図表の設計、あるいは外国語の印刷のために使用することができます。

- ENABLE (デフォルト) では、LAC 文字を定義されたように印刷します。
- DISABLE では、ホストからの LAC 定義が無視され、現在選択されている文字セットから印刷が行われます。

## LAC 近似値

ドット列を再編成して、きれいで読みやすい印刷をするための処理。

- **On**。エミュレートされた文字セルを 6400-i20 の標準セルに変換します。
- **Off**。LAC 近似値ではなく、バイト単位に文字セルを変換します。

## 印刷テキスト方向

PRINT TEXT DIRECTION は、ページ上で文字が印刷される方向を指定します。これにより、プリンターは左から右にではなく、右から左に印刷される言語を印刷することができます。

- CONTROL BY HOST (デフォルト)
- LEFT TO RIGHT
- RIGHT TO LEFT

## ホスト指定変更

OVERRIDE HOST は、プリンターがホストから送られた特定のコマンドを実行するのか、現行のプリンター設定値を引き続き使用するのかを決定します。OVERRIDE HOST が使用可能にされると、次のホスト・コマンドは無視されます。行の長さ、用紙の長さ、行/インチ (LPI)、字/インチ (CPI)、印刷品質、およびテキスト方向 (つまり、左から右へ)。OVERRIDE HOST が使用可能にされるとき、これらの設定はオペレーター・パネルの設定のままになります。

注: ホスト・マージンおよびタブの設定は、OVERRIDE HOST が使用可能にされているかどうかに関係なく使用されます。

- DISABLE (デフォルト) により、特定のホスト・コマンド (行の長さ、用紙長、LPI、CPI、印刷品質、およびテキスト方向) はオペレーター・パネルの設定を指定変更することができます。メッセージ・ディスプレイ上に表示されている情報は、データ・ストリームの設定に一致しない場合があることに注意してください。disable オプションの初期選択では、値は変更されません。
- ENABLE により、オペレーター・パネルの設定はホスト・データ・ストリームのコマンドを指定変更することができます。

## フォーマット制御

FORMAT CONTROL により、絶対移動および相対移動のコマンドが実行された後に、プリンターは 6408/6412 モデル CT0 プリンターと同じスペーシングを反映することができます。次のオプションを使用することができます。

- ENABLE は、新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される 6408/6412 モデル CT0 の距離を反映します。
- DISABLE は、新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される距離を反映しません。

## 最大印刷可能幅

MAXIMUM PRINTABLE WIDTH (最大印刷可能幅) は、CT® ホスト・インターフェースを使用しているときに、プリンターの最大幅を設定します。

- 13.2 インチ (デフォルト)
- 13.6 インチ

注: 最大印刷可能幅に関する平衡型インターフェース・メニューおよび同軸インターフェース・メニューのオプションは、同じ内部変数を使用します。どちらか

のメニューでこのオプションを設定すると、使用されるインターフェースには無関係に、それがプリンター用の現行設定値になります。

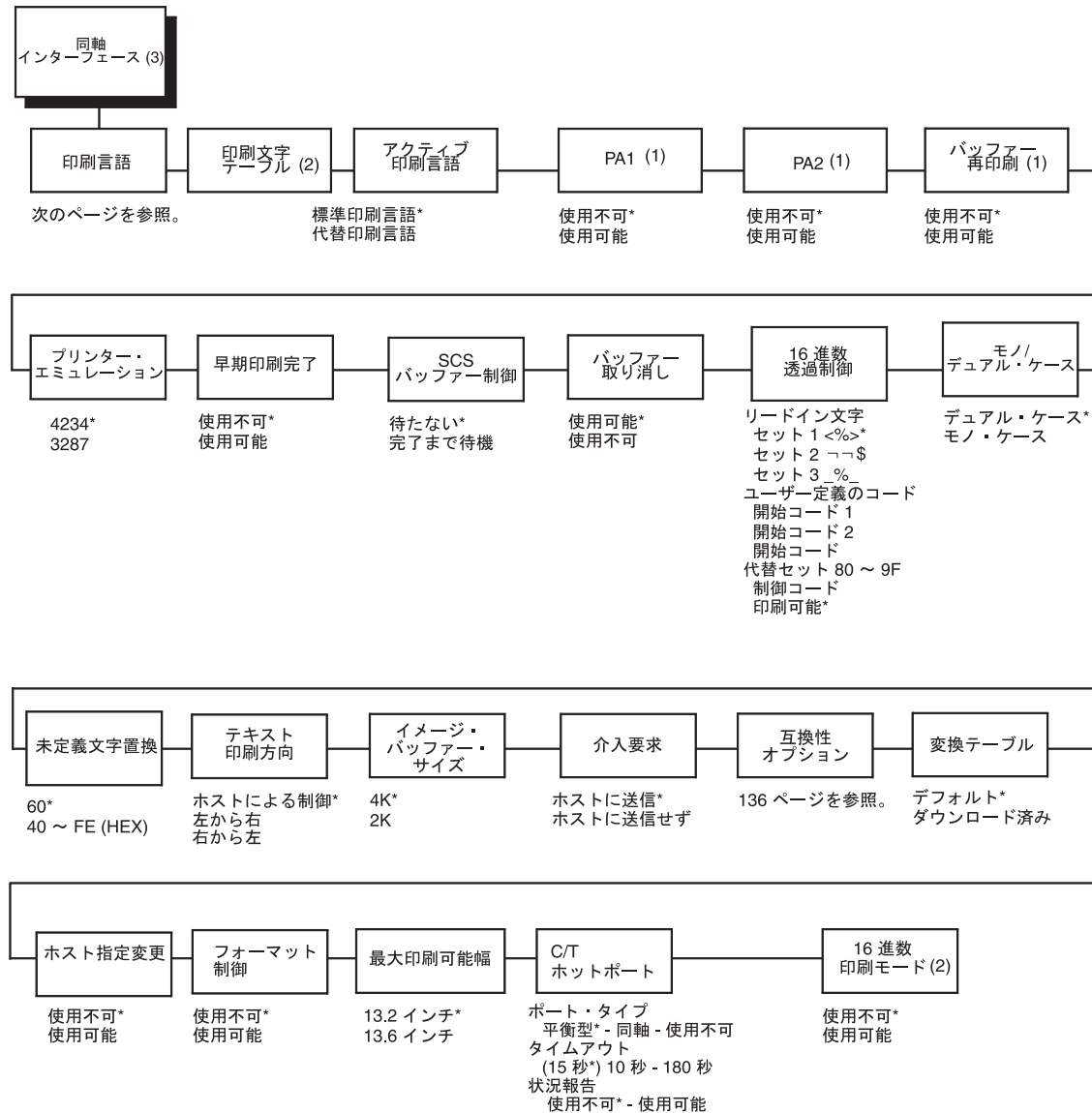
LP+ エミュレーションでは幅に対して文字数を使用しますが、文字数による最大印刷可能幅については、平衡型インターフェース・メニューおよび同軸インターフェース・メニューの最大印刷可能幅オプションで設定されるのと同じ内部変数によって制御されます。

## 16 進数印刷モード

これが使用可能になっているとき、HEX PRINT MODE パラメーターは、ホストから受け取られた EBCDIC データおよび制御コードを 16 進値として印刷します。16 進数コードの印刷出力を得るには、216 ページを参照してください。

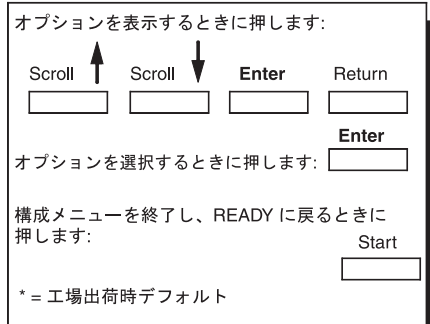
**注:** 16 進数モードの印刷では、ホスト・コンピューターによって設定された印刷属性を変更することができます。16 進数印刷モードを enable から disable に変更した後は、電源をいったんオフにしてから再びオンにする必要があります。

# 同軸インターフェース・メニュー



注:

- (1)同軸モードでは、「PA1」、「PA2」、および「バッファ再印刷」の各オプションは、同軸回線がアクティブな場合にのみ表示されます。
- (2) IPDS には該当しません。
- (3)同軸/平衡型インターフェース・メニューは、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。





HB9SG087





オプションを表示するときに押します:

Scroll 	Scroll 	Enter	Return
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

オプションを選択するときに押します:

構成メニューを終了し、READY に戻るときに押します:

Start

\* = 工場出荷時デフォルト

HBSSG088

## 印刷言語

PRINT LANGUAGE は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

- 標準印刷言語 (デフォルト)
- 代替印刷言語は、6408/6412 モデル CT0 プリンターと互換性のあるコード・ページを提供します。このオプションは 3287 プリンター・エミュレーションで使用します。

OCR A または OCR B の印刷品質を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されると、このパラメーターでは OCR A および OCR B のみが使用可能な値となります。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

## 印刷文字テーブル

PRINT CHARACTER TABLE は、同軸インターフェースの現行文字セットのテーブルを印刷します。

すべての同軸文字セットは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」に示されています。

## アクティブ印刷言語

ACTIVE PRINT LANGUAGE は、どの印刷言語設定がアクティブ設定となるかを指定します。

- 標準印刷言語 (デフォルト)
- 代替印刷言語

## PA1

PA1 は、プリンターが NOT READY 状態で、同軸システム・ネットワーク体系文字セット (SCS) データ・ストリームがアクティブのときのみ有効です。この機構は、「Enter」キーが押されると「PA1 ENABLED」メッセージを表示し、プリンターが READY にされたときに特殊なオペレーター要求をホストに送ります。

SCS について詳しくは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。

注: 再度 PA1 メニュー項目を選択 (オペレーター・パネルに「PA1 DISABLED」が表示される) するか、あるいは PA2 メニュー項目を選択すると、保留中の PA1 機構がリセットされます。

## PA2

PA2 は、プリンターが NOT READY 状態で、同軸 SCS データ・ストリームがアクティブのときのみ有効です。この機能は、「Enter」キーが押されると「PA2 ENABLED」メッセージを表示し、プリンターが READY にされたときに特殊なオペレーター要求をホストに送ります。

注: 再度 PA2 メニュー項目を選択 (オペレーター・パネルに「PA2 DISABLED」が表示されます) するか、あるいは PA1 メニュー項目を選択すると、保留中の PA2 機構がリセットされます。

## バッファ再印刷

このオプションは、プリンターが NOT READY 状態で、同軸 SCS データ・ストリームがアクティブのときにのみ有効です。プリンターは、「Enter」キーが押されると、メッセージ「ENABLED」を表示し、プリンターが READY 状態になったときに、介入要求状況をホストに送ります。

注: 再度バッファ再印刷メニュー項目を選択する (オペレーター・パネルに「DISABLED」が表示される) と、バッファ再印刷機能がリセットされます。

## 早期印刷完了

Early Print Complete 機能により、プリンターは、すべてのデータの印刷を実際に終える前に、Print Complete 状況をホストに送ることができます。

- 使用不可 (デフォルト) は、すべての印刷が完了するまで、プリンターが Early Print Complete 応答を抑制することを意味します。
- ENABLE は、プリンターがさらにデータを受け入れることができるときに、プリンターがホストに肯定応答を送ることを意味します。

注: 早期印刷完了が使用可能にされ、エラーが発生する場合、プリンター内のデータは (Cancel Buffer オプションの設定に関係なく) バッファに残ります。エラーから回復するには、ローカルの手順に従うことをお勧めします。

印刷ジョブの進行中は、早期印刷完了を選択しないでください。これが行われると、プリンターを再始動することが必要になります。

## SCS バッファ制御

このオプションは、Coax LU1/SCS モードでのみ使用します。

- **Don't Wait** (待たない)。プリンターは、ジョブの印刷が完了するのを待たずに、ホストに印刷完了を送ります。
- **Wait Until Done** (完了まで待機)。プリンターは、ジョブの印刷が完了してから、ホストに印刷完了を送ります。

このオプションを使用すると、短いジョブの場合 LU1 ジョブの印刷が迅速になります。「Don't Wait (待たない)」を選択すると、プリンターに障害があったときに、印刷ジョブをリカバリーできなくなるリスクがあります。

## バッファ取り消し

CANCEL BUFFERS には、次のオプションがあります。

- 使用可能 (デフォルト) では、ジョブがホストから保留されたとき、あるいは「Cancel」キーが押されたときに、すべてのバッファが取り消されます。
- 使用不可では、ジョブがホストから保留されたとき、あるいは「Cancel」キーが押されたときに、印刷エンジン・バッファではなく、同軸内部バッファが消去されます。

## 16 進数透過制御

標準の IBM エミュレーションでは利用できない追加の機構を使用可能にすることができます。これらの機構にアクセスするには、データ・ストリーム内で lead-in character テキスト・コマンドを送ります。ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex を使用することもできます (そのようにするよう構成されている場合)。

- **リードイン文字。** Lead-In Character コマンドには開始と終了のコードがなければなりません。Set 1 は工場出荷時のデフォルトです。次の 3 つのセット (それぞれ開始および終了のコードを含む) が使用可能です。
  - Set 1: start code = <% end code = >
  - Set 2: start code = ^^ end code = \$
  - Set 3: start code = \_% end code = \_
- **ユーザー定義のコード**
  - Start Code 1: 5F
  - Start Code 2: 5F\* (デフォルト)
  - Stop code: 5B

コードは、x'40' - x'FF' の範囲で設定できます。

- **代替セット 80 ~ 9F。**この選択肢は、ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex が制御コードとして使用されるのか、標準の印刷可能文字として印刷されるのかを決定します。
  - 印刷可能 (デフォルト) では、代替セットを標準文字として印刷します。
  - 制御コードでは、プリンターの制御コードとして使用される代替セットを選択します。

## モノ/デュアル・ケース

MONO/DUAL CASE は、フォントを MONO Case または DUAL Case (デフォルト) として指定します。これは、非 SCS モードでのみ使用可能です。プリンターが READY になるときに、ホストは変更について通知されます。文字セットが「右から左への」セット (Katakana、Hebrew、Hebrew Old、および Farsi) である場合、MONO CASE は DUAL CASE と同様に印刷されます。

SCS (システム・ネットワーク体系文字ストリング) モードはホスト・コンピューターによって制御されます。非 SCS モードについて詳しくは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。

## 未定義文字置換

UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION は、ホストから受け取られた印刷不能文字の代わりに印刷する置換文字を指定します。

文字コード・ポイントは、40 Hex ~ FE Hex の範囲を取ることができます。工場出荷時のデフォルトは、Hex 60 に設定されています。

## 印刷テキスト方向

PRINT TEXT DIRECTION は、ページ上で文字が印刷される方向を指定します。これにより、プリンターは左から右にではなく、右から左に印刷される言語を印刷することができます。

- CONTROL BY HOST (デフォルト)
- LEFT TO RIGHT
- RIGHT TO LEFT

「CONTROL BY HOST」オプションにより、4234 として構成されたプリンターはホストからの「SET TEXT ORIENTATION」コマンドを使用することができます。

RIGHT TO LEFT の言語が選択される場合、プリンターが READY になるときに、ホストは印刷方向の変更について通知されます。

## イメージ・バッファ・サイズ

IMAGE BUFFER SIZE (画面バッファ・サイズ) により、次のイメージ・バッファ・サイズを選択することができます。

- 4K (デフォルト)
- 2K

プリンターが READY にされるととき、POR 状況がホストに送られます。

## 介入要求

SEND TO HOST または NOT SEND TO HOST (デフォルト) から選択します。

SEND TO HOST が選択される場合、次のいずれかが発生すると、プリンターはホスト・コンピューターに信号を送ります。

- プリンターの障害が発生する。
- 保留モードのタイムアウトが発生する。

選択されない場合、プリンターは、データ消失の原因となるプリンター障害 (紙詰まり、リボン停止、オンライン・プラテンが開いている、など) に関する信号のみを送ります。

## 互換性オプション

106 ページを参照。

## 変換テーブル

このパラメーターは、印刷のためにどの変換テーブルを使用するかを定義します。次のオプションを使用することができます。

- デフォルト (デフォルト) は、現行の文字セットのデフォルトのテーブルを使用することによってデータを変換します。
- ダウンロード済みは、ダウンロードされた変換テーブルを使用して、データを EBCDIC から内部コードへ変換します。

## ホスト指定変更

OVERRIDE HOST は、ホストから送られた特定のコマンドを実行するのか、あるいは現行設定値を引き続き使用するのかを決定します。OVERRIDE HOST が使用可能にされると、次のホスト・コマンドは無視されます。行の長さ、用紙の長さ、行/インチ (LPI)、字/インチ (CPI)、印刷品質、およびテキスト方向 (つまり、左から右へ)。OVERRIDE HOST が使用可能にされると、これらの設定はオペレーター・パネルの設定のままになります。

- DISABLE (デフォルト) により、特定のホスト・コマンド (行の長さ、用紙長、LPI、CPI、印刷品質、およびテキスト方向) はオペレーター・パネルの設定を指定変更することができます。メッセージ・ディスプレイ上に表示されている情報は、データ・ストリームの設定に一致しない場合があることに注意してください。disable オプションの初期選択では、値は変更されません。
- ENABLE により、オペレーター・パネルの設定はホスト・データ・ストリームのコマンドを指定変更することができます。

## フォーマット制御

FORMAT CONTROL により、絶対移動および相対移動のコマンドが実行された後に、プリンターは 6408/6412 モデル CT0 プリンターと同じスペーシングを反映することができます。次のオプションを使用することができます。

- ENABLE は、新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される 6408/6412 モデル CT0 の距離を反映します。
- DISABLE は、新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される距離を反映しません。

## 最大印刷可能幅

MAXIMUM PRINTABLE WIDTH (最大印刷可能幅) は、CT ホスト・インターフェースを使用しているときに、プリンターの最大幅を設定します。

- 13.2 インチ (デフォルト)
- 13.6 インチ

**注:** 最大印刷可能幅に関する平衡型インターフェース・メニューおよび同軸インターフェース・メニューのオプションは、同じ内部変数を使用します。どちらかのメニューでこのオプションを設定すると、使用されるインターフェースには無関係に、それがプリンター用の現行設定値になります。

LP+ エミュレーションは幅を文字数で維持するとはいえ、文字数での印刷可能幅は、最大印刷可能幅オプションについて平衡型インターフェース・メニューおよび同軸インターフェース・メニューのオプションで設定されるのと同じ内部変数によって制御されます。

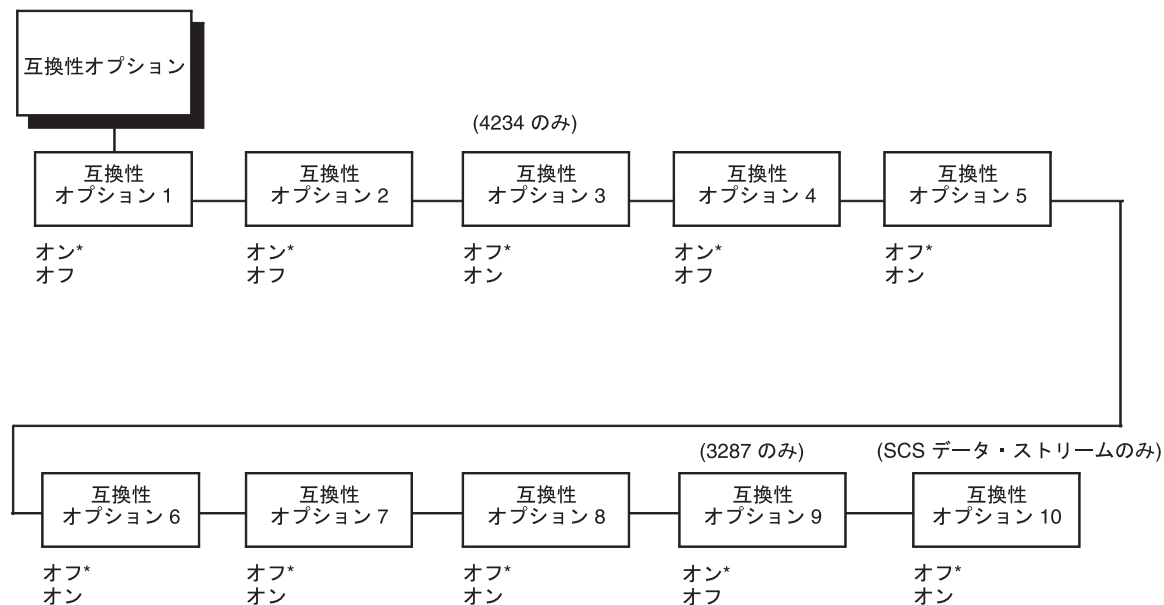
## 16 進数印刷モード

これが ENABLE になっているとき、HEX PRINT MODE パラメーターは、ホストから受け取られた EBCDIC データおよび制御コードを 16 進値として印刷します。16 進数コードの印刷出力を入手するには、216 ページを参照してください。DISABLE は、デフォルトの状態です。



**注:** 16 進数モードの印刷では、ホスト・コンピューターによって設定された印刷属性を変更することができます。16 進数印刷モードを enable から disable に変更した後は、電源をいったんオフにしてから再びオンにする必要があります。

## 互換性オプション・メニュー (同軸のみ)

Compatibility Options (互換性オプション) メニューでは、エミュレートしたプリンターの能力に応じて、非 SCS モードによる特殊印刷機能を選択できます。



オプションを表示するときに押します:

Scroll  Scroll  Enter   Return

Enter

オプションを選択するときに押します:

構成メニューを終了し、READY に戻るときに押します:

Start

\* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG089

### 互換性オプション 1: MPP+1 で復帰

MPP は最大印刷位置で、行長さとも呼ばれます。OPTION 1 は、印刷行の終わりおよび MPP+1 において復帰を制御します。

- ・ オンは、次の行の最初の印刷位置への復帰を行います。
- ・ オフ (デフォルト) は、現在行の最初の印刷位置への復帰を行います。

### 互換性オプション 2: MPP+1 で改行

NEW LINE AT MPP+1 は、新しい行へ復帰するときに何行スキップするかを制御します。

- ・ ON では、次の印刷行の最初の印刷位置へ移動します。



- OFF (デフォルト) では、現在位置から 2 行下がって最初の印刷位置へ移動します。

### 互換性オプション 3: 用紙送り後の位置 (4234 のみ)

POSITION AFTER FORM FEED により、用紙コマンドが送られた後の印刷位置の選択を行うことができます。

- OFF では、プリンターは次の用紙の最初の印刷行の位置 2 で印刷を行います。
- ON (デフォルト) では、プリンターは次の用紙の最初の印刷行の印刷位置 1 で印刷を行います。

### 互換性オプション 4: 印刷バッファの終わりで用紙送り

FORM FEED AT END OF PRINT BUFFER は、用紙送りコマンドが印刷バッファ内の最後に検出されるコードであるときに、印刷行位置を決定します。

- ON では、次の用紙の第 2 行の最初の印刷位置に移動します。
- OFF (デフォルト) では、次の用紙の最初の行の最初の印刷位置に移動します。

注: このオプションは、互換性オプション 7 がオンのときは無視されます。

3287 として構成され、用紙送りが印刷バッファの途中で生じた場合には、プリンターはこのオプションの設定に関係なく、次の用紙の第 2 行の最初の印刷位置へデフォルト設定で移動します。

### 互換性オプション 5: ナル抑止

NULL SUPPRESSION は、ナルをブランク・スペースとして扱うか、または無視します。ナルが無視される場合、印刷位置は移動しません。

- OFF (デフォルト) では、ナルを無視します。
- ON ではナルをブランク・スペースとして扱います。

### 互換性オプション 6: 用紙送りコマンド位置

FORM FEED COMMAND POSITION では、用紙送りコマンドの位置がその実行に対して影響を及ぼすかどうかを決定します。

- OFF (デフォルト) は、通常行の最初の位置または最大印刷位置 +1 で生じた場合にのみ用紙送りを実行します。(最大印刷位置は行長さです。) 他の位置にある用紙送りコマンドはブランクとして認識されます。
- ON では、プリンターはデータ・ストリーム内のどこにおいても用紙送りコマンドを実行することができます。

### 互換性オプション 7: 印刷バッファの終わりで自動用紙送り

AUTOMATIC FORM FEED AT END OF PRINT BUFFER は、印刷バッファの終わりで自動用紙送りを実行するかしないかを指定します。

- OFF (デフォルト) では、印刷バッファを完了した後、自動改行コマンドを実行します (用紙送り、改行、または復帰コマンドが最後に実行されたコマンドでない限り)。プリンターは、次の行の印刷位置 1 で印刷を行うよう設定されます。
- ON では、印刷バッファを完了した後自動用紙送りを実行します (用紙送りコマンドがバッファ内の最後のコマンドでない場合)。プリンターは、次の用紙の最初の行の印刷位置 1 で印刷するよう設定されます。

### **互換性オプション 8: オペレーターによるコピー操作後の自動 FF**

このオプションは、オペレーターによるローカル・コピー（画面印刷機能）操作の後の印刷位置を決定します。

- OFF (デフォルト) では、印刷バッファの完了後に自動改行コマンドが実行されます (改行、用紙送り、または復帰コマンドが最後に実行されたコマンドでない限り)。プリンターは、次の行の印刷位置 1 で印刷を行うよう設定されます。
- ON では、用紙送りが最後に実行されたコマンドでない限り、自動用紙送りコマンドを実行します。プリンターは、次の用紙の最初の行の印刷位置 1 で印刷するよう設定されます。

### **互換性オプション 9: CR、EM、および NL (3287 のみ)**

CR (復帰)、EM (エラー・メッセージ)、および NL (改行) は、プリンターが CR、EM、および NL 制御コードをスペースとして扱うか、あるいは制御コードとして扱うかを指定します。

- ON (デフォルト) では、CR、EM、および NL コマンドを制御コマンドとして扱います。
- OFF では、CR、EM、および NL コマンドをスペースとして扱います。

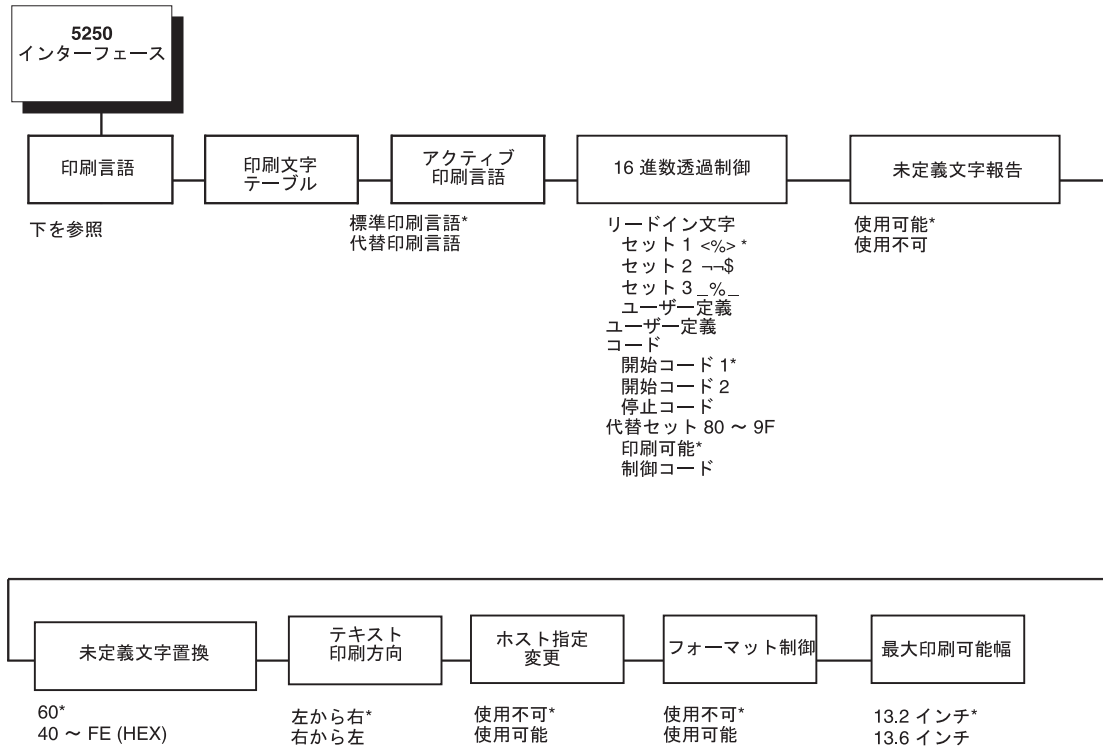
### **互換性オプション 10: 下部マージン (SCS データ・ストリームのみ)**

ホスト・コマンドによって指定または暗黙指定された下部マージンは指定変更され、オペレーター・パネルの下部マージン値が使用されるようになります。

- OFF (デフォルト) では、オペレーター・パネルの下部マージン値を無視します。
- ON では、下部マージンがオペレーター・パネルによって指定された値になるようにします。

**注:** 下部マージンが ON である場合、オペレーターは下部マージンを入力することができ、上部マージンはゼロにされます。下部マージンが OFF である場合、オペレーター・パネルの下部マージンはゼロにされます。

# 5250 インターフェース・メニュー



## 印刷言語

0037 English (USA/Canada)\*  
 0037 English (Netherlands)  
 0500 Swiss Bilingual  
 0500 Belgian New  
 0273 Austrian/German  
 0274 Belgian Old  
 0275 Brazilian  
 0260 Canadian French  
 0277 Danish/Norwegian  
 0278 Finnish/Swedish  
 0297 French/French Azerty  
 0280 Italian  
 0281 Japanese English  
 0282 Portuguese  
 0284 Spanish/Spanish Speaking  
 0285 English (UK/Ireland)  
 0892 ORC A  
 0424 Hebrew  
 0803 Hebrew Old (089)  
 0420 Arabic  
 0880 Cyrillic Old  
 0423 Greek Old  
 0875 Greek New Euro  
 0871 Icelandic  
 0290 Japanese Katakana

0870 Latin 2/Roece/Multilingual  
 0838 Thai  
 1026 Turkish  
 0890 Yugoslav Old  
 1097 Farsi  
 1025 Cyrillic Multilingual  
 0256 International Set 1  
 1112 Baltic Multilingual  
 0924 Euro Latin 9  
 1122 Estonian  
 1140 Euro English (USA/Canada)  
 1141 Euro Austrian/German  
 1142 Euro Danish/Norwegian  
 1143 Euro Finnish/Swedish  
 1144 Euro Italian  
 1145 Euro Spanish Speaking  
 1146 Euro English (UK/Ireland)  
 1147 Euro French (Azerty 105)  
 1148 Euro Swiss Bilingual  
 1149 Euro Icelandic  
 OCR-B Katakana  
 0500 International Set 5

## 代替印刷言語

English US\*  
 Austrian/German  
 Brazilian  
 Canadian French  
 Danish/Norwegian  
 Finnish/Swedish  
 French  
 Italian  
 Japanese English  
 Japanese Katakana  
 Portuguese  
 Spanish  
 Spanish Speaking  
 English UK/Ireland  
 Multinational

HB9SG129

注: <sup>(1)</sup> このメニューは、TN5250/3270 オプションが取り付けられている場合のみ表示されます。

## 印刷言語

PRINT LANGUAGE は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

- **Standard Print Language** (デフォルト)
- **Alternate Print Language** 6408/6412 モデル CT0 プリンターと互換性のあるコード・ページを提供します。

OCR A または OCR B の印刷品質を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されると、この印刷品質では OCR A および OCR B のみが使用可能な値となります。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

## 印刷文字テーブル

PRINT CHARACTER TABLE は、5250 インターフェースの現行文字セットのテーブルを印刷します。

文字セットは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」に示されています。

## アクティブ印刷言語

アクティブとなる印刷言語セット・グループ (標準または代替) を選択します。

- **Standard Print Language** (デフォルト)
- **Alternate Print Language**

## 16 進数透過制御

このオプションにより、標準の IBM エミュレーションでは利用できない追加の機構を使用可能 (デフォルト) または使用不可能にすることができます。これらの機構にアクセスするには、データ・ストリーム内で lead-in character テキスト・コマンドを送ります。ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex を使用することもできます (そのようにするよう構成されている場合)。

## リードイン文字

Lead-In Character コマンドには開始と終了のコードがなければなりません。Set 1 は工場出荷時のデフォルトです。次の 3 つのセット (それぞれ開始および終了のコードを含む) が使用可能です。

- **Set 1** : start code = <% (デフォルト) end code = >
- **Set 2** : start code = ^^ end code = \$
- **Set 3** : start code = \_% end code = \_
- **User Defined**

## ユーザー定義のコード

- **Start Code 2: 5F** (デフォルト)
- **Start Code 1: 5F**
- **Stop code: 5B**

コードは、x ' 40 ' - x ' FF ' の範囲で設定できます。

### Alternate Set 80 -9F

この選択肢は、ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex が制御コードとして使用されるのか、標準の印刷可能文字として印刷されるのかを決定します。

- **Printable** (デフォルト)。代替セットを標準文字として印刷します。
- **Control Code**。プリンターの制御コードとして使用される代替セットを選択します。

## 未定義文字報告

UNDEFINED CHARACTER REPORTING により、SGEA (Set Graphic Error Action) コマンドのホスト設定の指定変更を行うことができます。SGEA コマンドについて詳しくは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Enable** (デフォルト)。SGEA 用のホスト設定であり、プリンターによって使用されます。SGEA コマンドがグラフィック・エラーで停止するよう要求される場合、グラフィック・エラーが検出されるとプリンターは停止します。
- **Disable**。ホストからの SGEA コマンドを無視します。エラーが検出されたときにプリンターは停止せず、その代わりに、プリンターは「UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION」メニュー項目で選択された文字を置換します。

## 未定義文字置換

UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION は、ホストから受け取られた印刷不能文字の代わりに印刷する置換文字を指定します。その文字は、次の場合に、プリンターのデフォルトになります。

- プリンターの電源がオフにされてから、オンにされる。
- SGEA コマンドがオペレーター・パネルのデフォルトを使用するよう指定する。
- 「UNDEFINED CHARACTER REPORTING」オプションが使用不可である。

文字コード・ポイントは、次の値に設定できます。

- **60** (デフォルト)
- **40 - FE (HEX)**

## 印刷テキスト方向

ページ上で文字が印刷される方向を指定します。これにより、プリンターは左から右にではなく、右から左に印刷される言語を印刷することができます。

- **Left to Right** (デフォルト)
- **Right to Left**. 右から左方向の言語を選択すると、プリンターがオンラインになったときに、印刷方向の変更がホストに通知されます。

## ホスト指定変更

プリンターがホストから送られた特定のコマンドを実行するのか、現行のプリンター設定値を引き続き使用するのかを決定します。**OVERRIDE HOST** が使用可能にされると、次のホスト・コマンドは無視されます。行の長さ、用紙の長さ、行/インチ (LPI)、字/インチ (CPI)、印刷品質、およびテキスト方向 (つまり、左から右へ)。**OVERRIDE HOST** が使用可能にされるとき、これらの設定はオペレーター・パネルの設定のままになります。

**注:** ホスト・マージンおよびタブの設定は、**OVERRIDE HOST** が使用可能にされているかどうかに関係なく使用されます。

- **Disable** (デフォルト)。特定のホスト・コマンド (行の長さ、用紙長、LPI、CPI、印刷品質、およびテキスト方向) はオペレーター・パネルの設定を指定変更することができます。メッセージ・ディスプレイ上に表示されている情報は、データ・ストリームの設定に一致しない 場合があることに注意してください。**disable** オプションの初期選択では、値は変更されません。
- **Enable**。オペレーター・パネルの設定は、ホスト・データ・ストリームのコマンドを指定変更することができます。

## フォーマット制御

絶対および相対移動コマンドが実行された後に、プリンターは 6408/6412 モデル CT0 プリンターと同じスペーシングを反映することができます。次のオプションを使用することができます。

- **Disable** (デフォルト) 新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される距離を反映しません。
- **Enable**。新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される 6408/6412 モデル CT0 の距離を反映します。

## 最大印刷可能幅

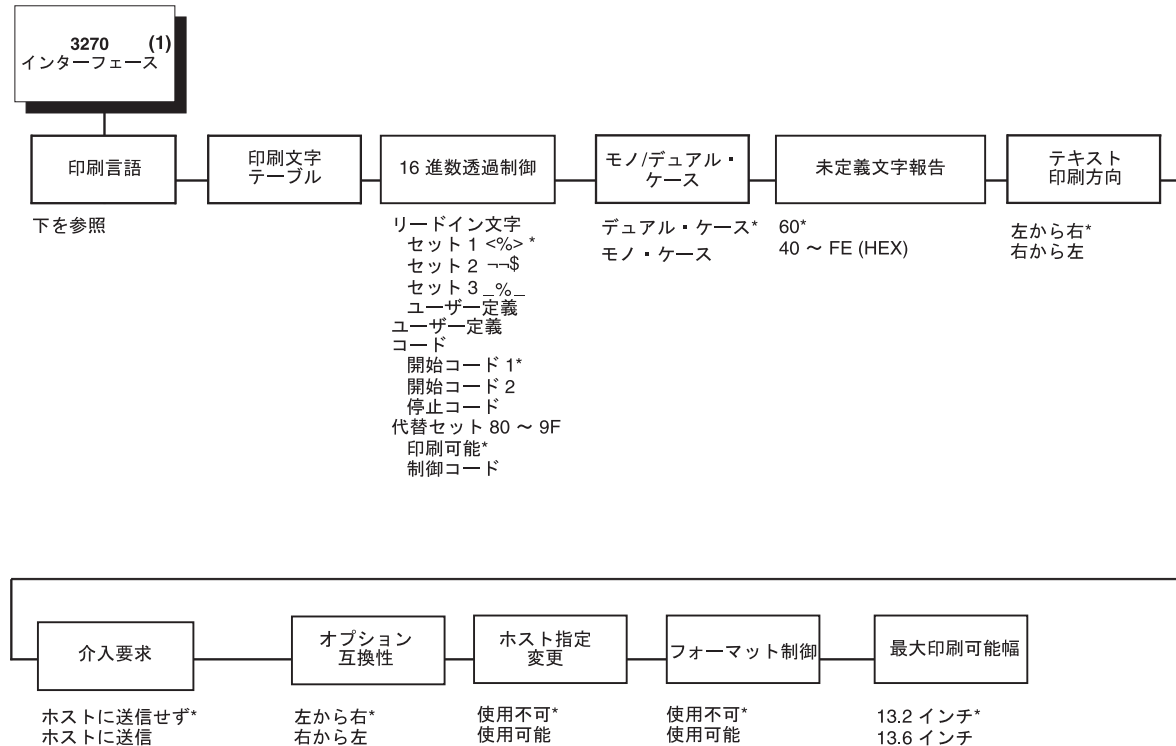
CT ホスト・インターフェースを使用しているときに、プリンターの最大幅を設定します。

- **13.2 インチ** (デフォルト)
- **13.6 インチ**

**注:** 最大印刷可能幅に関する 5250 インターフェース・メニューおよび 3270 インターフェース・メニューのオプションは、同じ内部変数を使用します。どちらかのメニューでこのオプションを設定すると、使用されるインターフェースには無関係に、それがプリンター用の現行設定値になります。

LP+ エミュレーションでは幅に対して文字数を使用しますが、文字数による最大印刷可能幅については、5250 インターフェース・メニューおよび 3270 インターフェース・メニューの最大印刷可能幅オプションで設定されるのと同じ内部変数によって制御されます。

## 3270 インターフェース・メニュー



### 印刷言語

0037 English (USA/Canada)*	0880 Cyrillic Old
0037 English (Netherlands)	0423 Greek Old
0285 English (UK/Ireland)	0875 Greek New Euro
0273 Austrian/German	0871 Icelandic
0274 Belgian Old	0290 Japanese Katakana
0275 Brazilian	0870 Latin 2/Roece/Multilingual
0260 Canadian French	0838 Thai
0277 Danish/Norwegian	1026 Turkish
0287 Danish/Norwegian (Alternate)	0890 Yugoslav Old
0278 Finnish/Swedish	1097 Farsi
0288 Finnish/Swedish (Alternate)	1025 Cyrillic Multilingual
0297 French/French Azerty	0905 Turkish Old
0500 International Set 5	0256 International Set 1
0280 Italian	0924 Euro Latin 9
0281 Japanese English	1140 Euro English (USA/Canada)
0282 Portuguese	1141 Euro Austrian/German
0284 Spanish/Spanish Speaking	1142 Euro Danish/Norwegian
0289 Spanish (Alternate)	1143 Euro Finnish/Swedish
0500 Swiss Bilingual	1144 Euro Italian
0500 Belgian New	1145 Euro Spanish Speaking
0803 Hebrew Old (089)	1146 Euro English (UK/Ireland)
0424 Hebrew	1147 Euro French (Azerty 105)
0892 ORC A	1148 Euro Swiss Bilingual
0892 ORC B	1149 Euro Icelandic
0420 Arabic	OCR-B Katakana

HB9SG130

注: <sup>(1)</sup> このメニューは、TN5250/3270 オプションが取り付けられている場合にのみ表示されます。



## 印刷言語

PRINT LANGUAGE は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

OCR A または OCR B の印刷品質を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されると、この印刷品質では OCR A および OCR B のみを使用可能な値となります。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

## 印刷文字テーブル

PRINT CHARACTER TABLE は、3270 インターフェースの現行文字セットのテーブルを印刷します。

文字セットは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」に示されています。

## 16 進数透過制御

標準の IBM エミュレーションでは利用できない追加の機構を使用可能にすることができます。これらの機構にアクセスするには、データ・ストリーム内で lead-in character テキスト・コマンドを送ります。ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex を使用することもできます (そのようにするよう構成されている場合)。

### リードイン文字

Lead-In Character コマンドには開始と終了のコードがなければなりません。Set 1 は工場出荷時のデフォルトです。次の 3 つのセット (それぞれ開始および終了のコードを含む) が使用可能です。

- **Set 1** : start code = <% (デフォルト) end code = >
- **Set 2** : start code = ^ end code = \$
- **Set 3** : start code = \_% end code = \_
- **User Defined**

### ユーザー定義のコード

- **Start Code 2**: 5F\* (デフォルト)
- **Start Code 1**: 5F
- **Stop Code**: 5B コードは、x'40' - x'FF' の範囲で設定できます。

### Alternate Set 80 -9F

この選択肢は、ASCII コード 80 Hex ~ 9F Hex が制御コードとして使用されるのか、標準の印刷可能文字として印刷されるのかを決定します。

- **Printable** (デフォルト)。代替セットを標準文字として印刷します。

- **Control Code**。プリンターの制御コードとして使用される代替セットを選択します。

## モノ/デュアル・ケース

フォントをモノ・ケースまたはデュアル・ケースに指定します。このオプションは、非 SCS モードでのみ使用可能です。プリンターがオンラインになると、変更内容がホストに通知されます。文字セットが「右から左への」セット (Katakana、Hebrew、Old Hebrew、および Farsi) である場合、MONO CASE は DUAL CASE と同様に印刷されます。

SCS (システム・ネットワーク体系文字ストリング) モードはホスト・コンピューターによって制御されます。

- **Dual Case** (デフォルト)
- **Mono Case**

## 未定義文字置換

UNDEFINED CHARACTER SUBSTITUTION は、ホストから受け取られた印刷不能文字の代わりに印刷する置換文字を指定します。その文字は、次の場合に、プリンターのデフォルトになります。

- プリンターの電源がオフにされてから、オンにされる。
- SGEA コマンドがオペレーター・パネルのデフォルトを使用するよう指定する。
- 「UNDEFINED CHARACTER REPORTING」オプションが使用不可である。文字コード・ポイントは、次の値に設定できます。
- **60** (デフォルト)
- **40 - FE (HEX)**

## 印刷テキスト方向

ページ上で文字が印刷される方向を指定します。これにより、プリンターは左から右にではなく、右から左に印刷される言語を印刷することができます。

- **Left to Right** (デフォルト)。
- **Right to Left**。右から左方向の言語を選択すると、プリンターがオンラインになったときに、印刷方向の変更がホストに通知されます。

## 介入要求

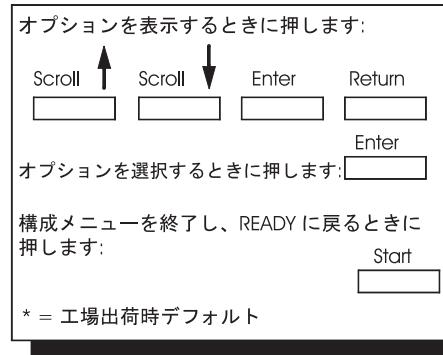
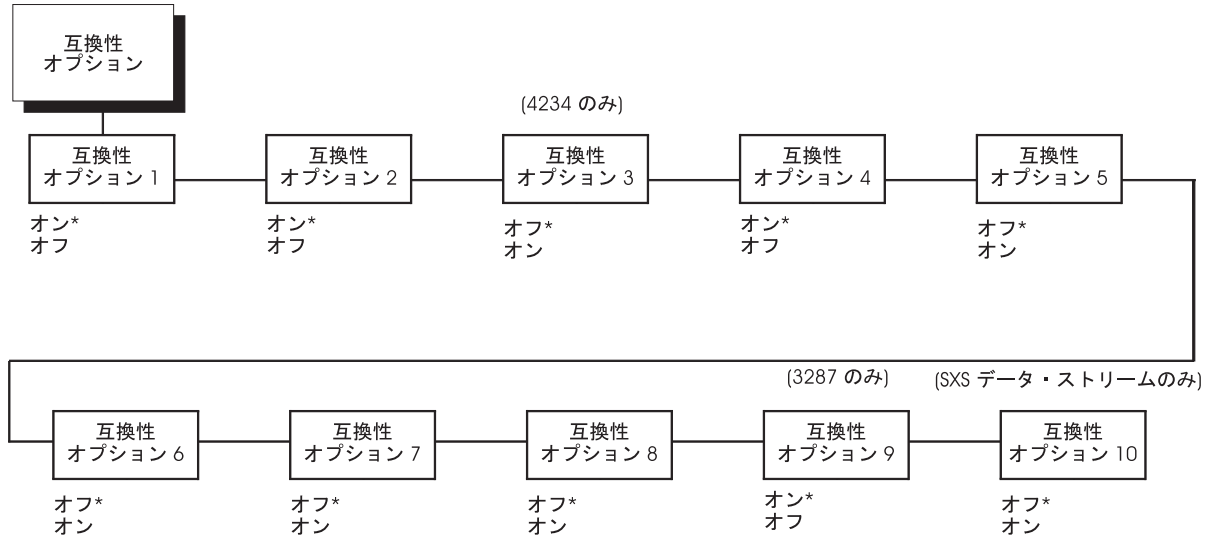
次の中から選択してください。

- **Not Send To Host** (デフォルト)
- **Send To Host**。次のいずれかが発生すると、プリンターはホスト・コンピューターに信号を送ります。

- プリンターの障害が発生する。
- 保留モードのタイムアウトが発生する。

選択されない場合、プリンターは、データ消失の原因となるプリンター障害（紙詰まり、リボン停止、オンライン・プラテンが開いている、など）に関する信号のみを送ります。

## 互換性オプション・メニュー



HB9SG13

### 互換性オプション 1:

#### MPP+1 で復帰

MPP は最大印刷位置で、行長さとも呼ばれます。OPTION 1 は、印刷行の終わりおよび MPP+1 において復帰を制御します。

- ON (デフォルト)。次の行の最初の印刷位置への復帰を行います。
- OFF。現在の行の最初の印刷位置への復帰を行います。

## 互換性オプション 2:

### MPP+1 で改行

NEW LINE AT MPP+1 は、新しい行へ復帰するときに何行スキップするかを制御します。

- **ON** (デフォルト)。次の印刷行の最初の印刷位置へ移動します。
- **OFF**。現在位置から 2 行下がって最初の印刷位置へ移動します。

## 互換性オプション 3:

### 用紙送り後の位置 (4234 のみ)

POSITION AFTER FORM FEED により、用紙コマンドが送られた後の印刷位置の選択を行うことができます。

- **OFF** (デフォルト)。プリンターは次の用紙の最初の印刷行の位置 2 で印刷を行います。
- **ON**。プリンターは次の用紙の最初の印刷行の位置 1 で印刷を行います。

## 互換性オプション 4:

### 印刷バッファの終わりで用紙送り

FORM FEED AT END OF PRINT BUFFER は、用紙送りコマンドが印刷バッファ内の最後に検出されるコードであるときに、印刷行位置を決定します。

- **ON** (デフォルト)。次の用紙の第 2 行の最初の印刷位置に移動します。
- **OFF**。次の用紙の第 1 行の最初の印刷位置に移動します。

注: このオプションは、互換性オプション 7 がオンのときは無視されます。

3287 として構成され、用紙送りが印刷バッファの途中で生じた場合には、プリンターはこのオプションの設定に関係なく、次の用紙の第 2 行の最初の印刷位置へデフォルト設定で移動します。

## 互換性オプション 5:

### ヌル抑止

NULL SUPPRESSION は、ヌルをブランク・スペースとして扱うか、または無視します。ヌルが無視される場合、印刷位置は移動しません。

- **OFF** (デフォルト)。ヌルを無視します。
- **ON**。ヌルをブランク・スペースとして扱います。

## 互換性オプション 6:

### 用紙送りコマンド位置

FORM FEED COMMAND POSITION では、用紙送りコマンドの位置がその実行に対して影響を及ぼすかどうかを決定します。

•**OFF** (デフォルト)。通常行の最初の位置または最大印刷位置 +1 で生じた場合にのみ用紙送りを実行します。(最大印刷位置は行長さです。)他の位置にある用紙送りコマンドはブランクとして認識されます。

•**ON**。プリンターはデータ・ストリーム内のどこでも用紙送りコマンドを実行することができます。

### 互換性オプション 7:

#### 印刷バッファの終わりで自動用紙送り

AUTOMATIC FORM FEED AT END OF PRINT BUFFER は、印刷バッファの終わりで自動用紙送りを実行するかしないかを指定します。

•**OFF** (デフォルト)。印刷バッファを完了した後、自動改行コマンドを実行します(用紙送り、改行、または復帰コマンドが最後に実行されたコマンドでない限り)。プリンターは、次の行の印刷位置 1 で印刷を行うよう設定されます。

•**ON**。印刷バッファを完了した後自動用紙送りを実行します(用紙送りコマンドがバッファ内の最後のコマンドでない場合)。プリンターは、次の用紙の最初の行の印刷位置 1 で印刷するよう設定されます。

### 互換性オプション 8:

#### オペレーターによるコピー操作後の自動 FF

このオプションは、オペレーターによるローカル・コピー(画面印刷機能)操作の後の印刷位置を決定します。

•**OFF** (デフォルト)。印刷バッファの完了後に自動改行コマンドが実行されます(改行、用紙送り、または復帰コマンドが最後に実行されたコマンドでない限り)。プリンターは、次の行の印刷位置 1 で印刷を行うよう設定されます。

• **ON**。用紙送りが最後に実行されたコマンドでない限り、自動用紙送りコマンドを実行します。プリンターは、次の用紙の最初の行の印刷位置 1 で印刷するよう設定されます。

### 互換性オプション 9:

#### CR、EM、および NL (3287 のみ)

CR (復帰)、EM (エラー・メッセージ)、および NL (改行) は、プリンターが CR、EM、および NL 制御コードをスペースとして扱うか、あるいは制御コードとして扱うかを指定します。

•**ON** (デフォルト)。CR、EM、および NL コマンドを制御コマンドとして扱います。

• **OFF**。CR、EM、および NL コマンドをスペースとして扱います。

### 互換性オプション 10:

#### 下部マージン (SCS データ・ストリームのみ)

ホスト・コマンドによって指定または暗黙指定された下部マージンは指定変更され、オペレーター・パネルの下部マージン値が使用されるようになります。

- **OFF** (デフォルト)。オペレーター・パネルの下部マージン値を無視します。
- **ON**。下部マージンがオペレーター・パネルによって指定された値になるようにします。

**注:** 下部マージンが **ON** である場合、オペレーターは下部マージンを入力することができ、上部マージンはゼロにされます。下部マージンが **OFF** である場合、オペレーター・パネルの下部マージンはゼロにされます。

## ホスト指定変更

ホストから送られた特定のコマンドを実行するのか、あるいは現行設定値を引き続き使用するのかを決定します。**OVERRIDE HOST** が使用可能にされると、次のホスト・コマンドは無視されます。行の長さ、用紙の長さ、行/インチ (LPI)、字/インチ (CPI)、印刷品質、およびテキスト方向 (つまり、左から右へ)。**OVERRIDE HOST** が使用可能にされるとき、これらの設定はオペレーター・パネルの設定のままになります。

• **Disable** (デフォルト)。特定のホスト・コマンド (行の長さ、用紙長、LPI、CPI、印刷品質、およびテキスト方向) はオペレーター・パネルの設定を指定変更することができます。メッセージ・ディスプレイ上に表示されている情報は、データ・ストリームの設定に一致しない 場合があることに注意してください。**disable** オプションの初期選択では、値は変更されません。

• **Enable**。オペレーター・パネルの設定は、ホスト・データ・ストリームのコマンドを指定変更することができます。

## フォーマット制御

絶対および相対移動コマンドが実行された後に、プリンターは 6408/6412 モデル CT0 プリンターと同じスペーシングを反映することができます。次のオプションを使用することができます。

• **Disable** (デフォルト)。新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される距離を反映しません。

• **Enable**。新しい位置 (絶対および相対移動コマンドが実行された後に) において、Code V 機構、IGP 機構、および 16 進数透過制御コード・シーケンスによって生成される 6408/6412 モデル CT0 の距離を反映します。

## 最大印刷可能幅

CT ホスト・インターフェースを使用しているときに、プリンターの最大幅を設定します。

• **13.2 インチ** (デフォルト)

• **13.6 インチ**

**注:** 最大印刷可能幅に関する 5250 インターフェース・メニューおよび 3270 インターフェース・メニューのオプションは、同じ内部変数を使用します。どちらかの

メニューでこのオプションを設定すると、使用されるインターフェースには無関係に、それがプリンター用の現行設定値になります。

LP+ エミュレーションでは幅に対して文字数を使用しますが、文字数による最大印刷可能幅については、5250 インターフェース・メニューおよび 3270 インターフェース・メニューの最大印刷可能幅オプションで設定されるのと同じ内部変数によって制御されます。